

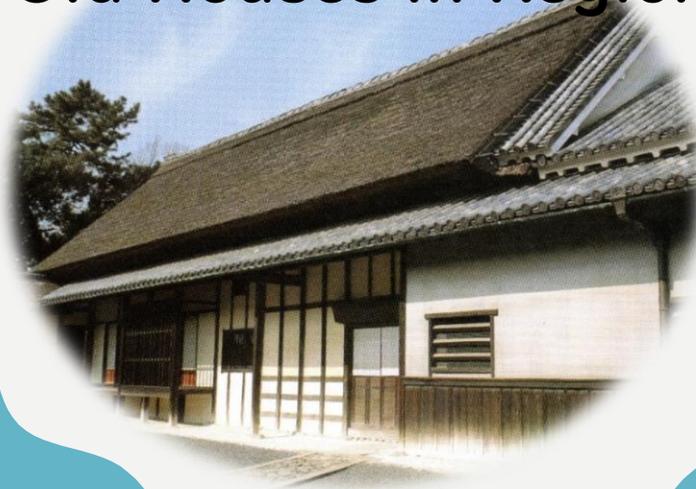
Keynote

The 33rd EAJRS Conference in Leuven

デジタル化以前 Before Digitalization

-地方の旧家に眠る史料・資料-

Family Archives and Materials
in Old Houses in Regional Japan



藪田 貫 Yutaka Yabuta

関西大学名誉教授 Emeritus Professor Kansai University

兵庫県立歴史博物館長 Director Hyogo Prefectural Museum of History

I 姫路とベルギー Himeji & Belgium



世界遺産登録30年

平成中村座
March 2023

兵庫県立歴史博物館
丹下健三基本設計
1983開館



開館40周年



Our Museum

市役所

国立姫路病院

カトリック教会

賢明女学院

第2次大戦後の
姫路復興地図

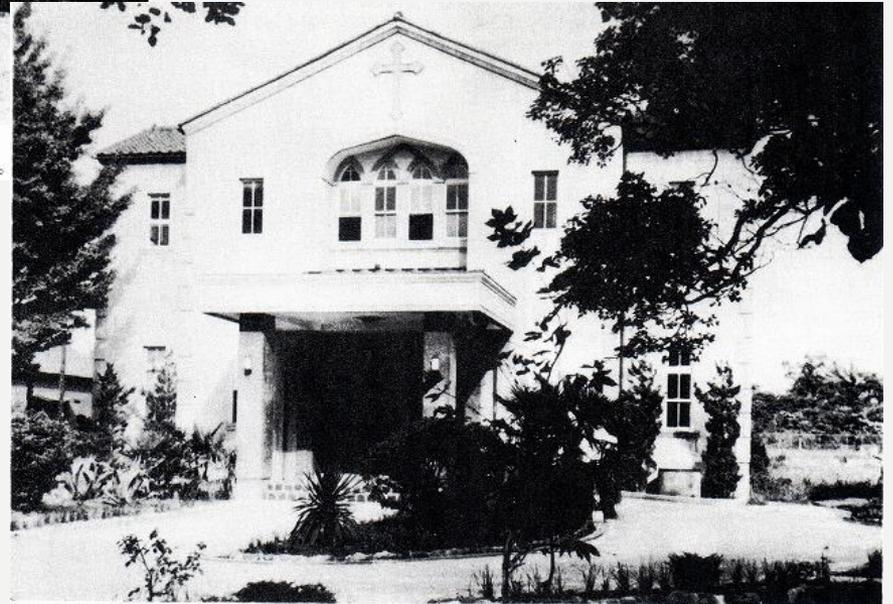
Around 1947

姫路駅方面



GEQ司令部長官宿舎

元第十師団師団長官舎が最初の司祭館となり昔を知る人は感無量である。スパー神父はここで計画をねり、布教の花を次々と開かれたのである。今は淨心会本部になっている。



1949年（昭和24年）12月11日、スパー主任司祭の依頼により株式会社神崎組（社長神崎文次氏）施工。380坪の大聖堂が出来上がった。播磨における戦後最初のカトリック聖堂である。

Foundation *Nov.1949*

姫路カトリック教
会



姫路城

姫路市役所
1983年から美術館

賢明女学院
Kenmei

淳心会本部
CICM・教会

淳心学院
Junshin

Kenmei

Junshin

1974

School for Girls/1951

School for Boys/1954

Aug. 2015



淳心会CICM本部



姫路カトリック教会ザビエル堂



姫路市立美術館（元兵器庫・**1983**年開館）
ポール・デルヴォーらの有数のベルギーコレクション

June 1964

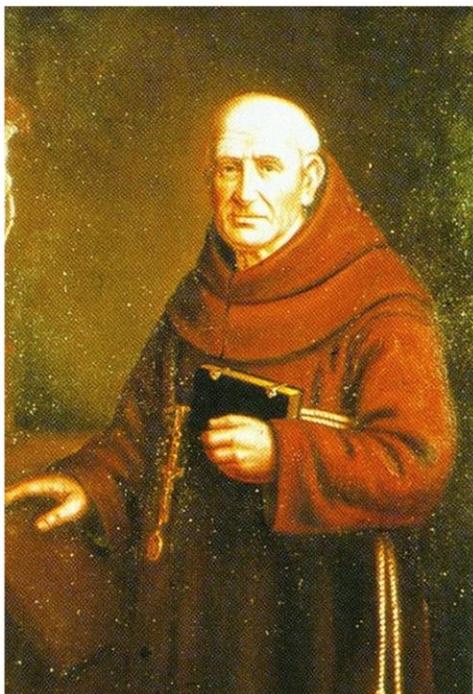


当日王妃に花束が贈呈された。

ボードワン国王夫妻の姫路来訪

第2次世界大戦後、姫路で布教したカトリック会

1 淳心会CICM



1812年フランシスコ会員クリストフ・ベルンスマイヤー神父によって始められ、総本部はミュンスター（ドイツ）。**1948**年日本布教を始め、本部は姫路市**マリア病院**内に所在。



1949年（昭和24年）6月27日9時30分より、ザビエルの右腕を迎えてヨゼフ・スパー司祭により壮麗なミサが行われた。天文18年8月15日平戸に上陸して以来400年ぶりに日本を訪問したのである。

ザビエルの右腕を迎えてのミサ *June* 1949

Father Josef Spae



和23年) 5月12日、姫路に到着されたスパー神父が初代主任司祭となり、に教会設立の計画が進められ、播磨一円に布教をひろめることとなった。のすぐれた手腕と努力は花を開き、実を結び、確固たる基礎を築きあげた。

ベルギー人日本学者の存在

スパー神父は文学、哲学の両博士、日本語はじめ、四カ国語をスラスラ話すことが出来、かつて京大で教鞭をとったこともあって、日本文化方面に活躍するのに最も適当な人と期待されている。 『神戸新聞』

姫路に第一歩を記す **May 1948**

- コロンビア大学で博士号取得
- テーマは伊藤仁斎の研究

2 海外日本研究との出会い

Encounter

1980.8 国際歴

1987 国際日

1993.9 EAJS

Carol Gluck

1995.9 関西

Walle

1999~2001

Dimitiri V

久

1999~2000 訪問教授 (Pri

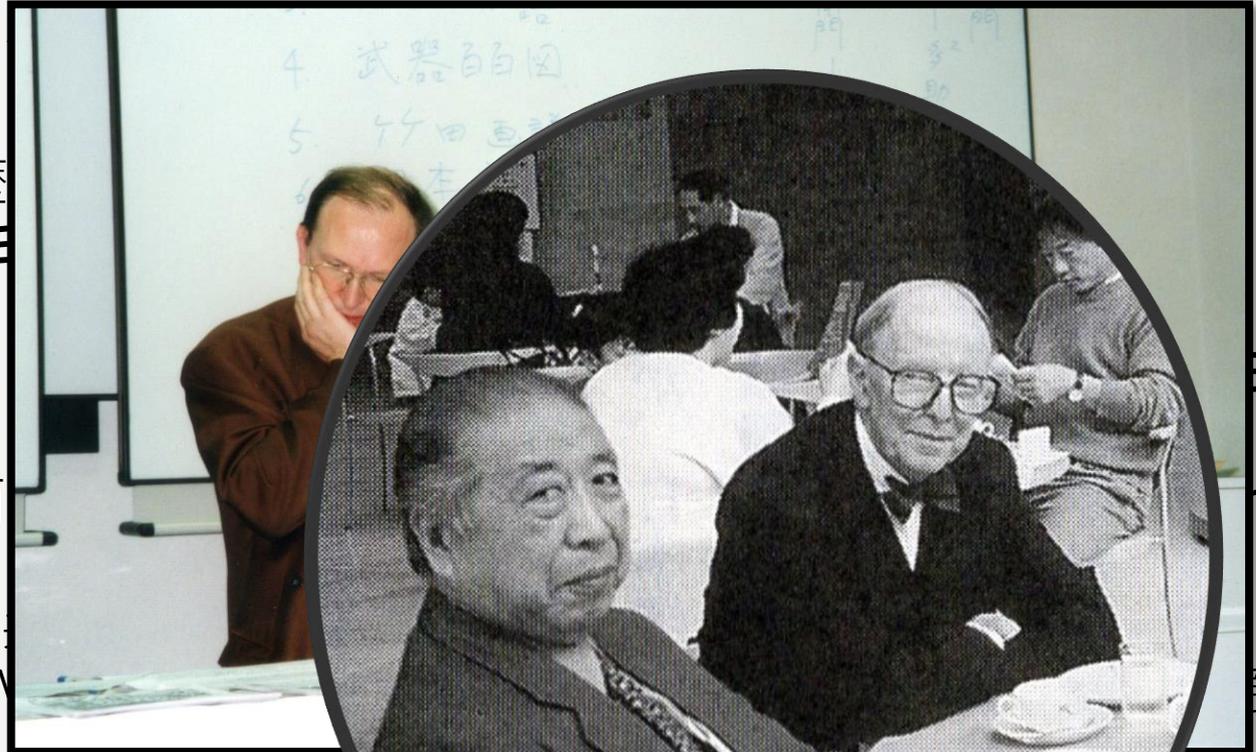
Jansen

2000 AAS (アメリカアジア学 USA

Walthall

2007 AAS

Stanley →



三郎

nde

原靖

Marius

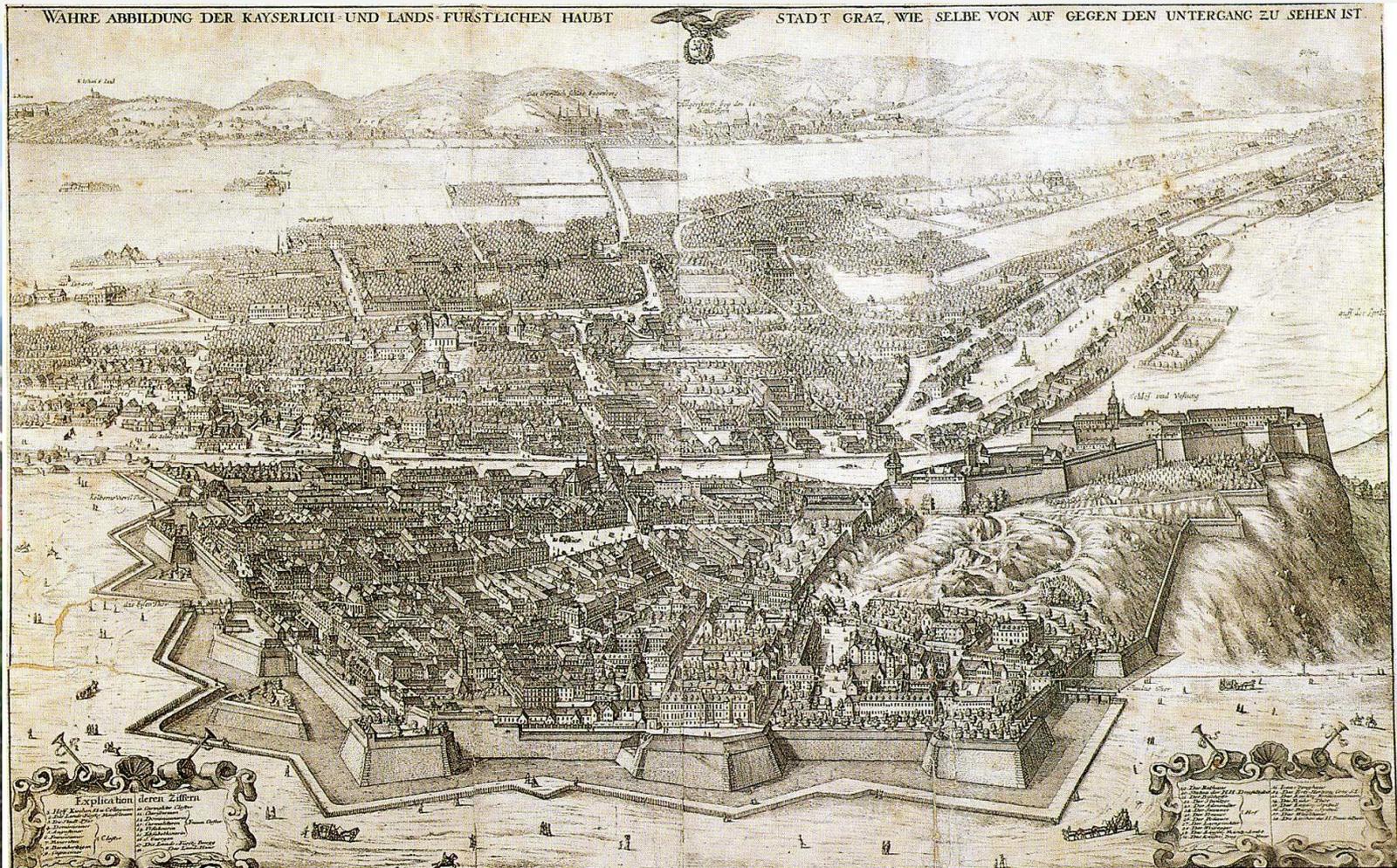
Ann

Boston, USA

Emy

日本女性史をめぐる交流

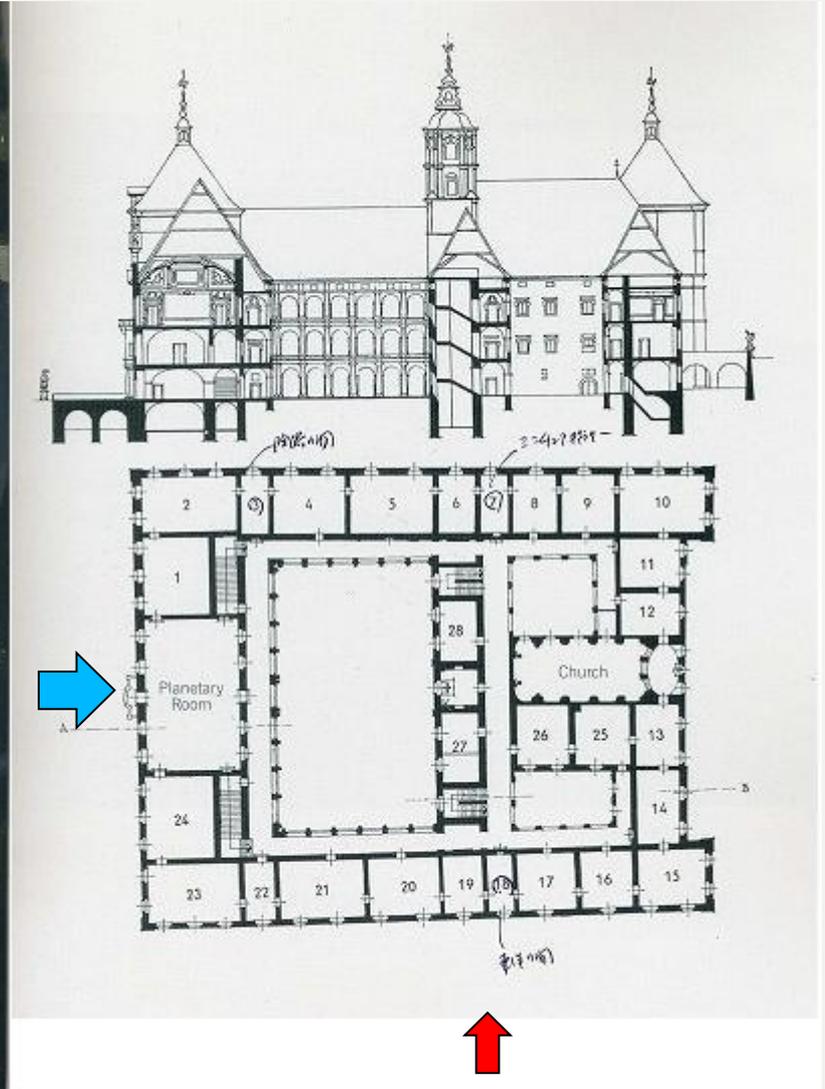
2007~2010 共同研究「エッゲンベルク城所蔵豊臣期大坂図屏風」



オーストリア第2の都市グラーツ
17世紀のGraz 対オスマントルコの最前線



初めての訪問Eggenberg Castle *June 2007*

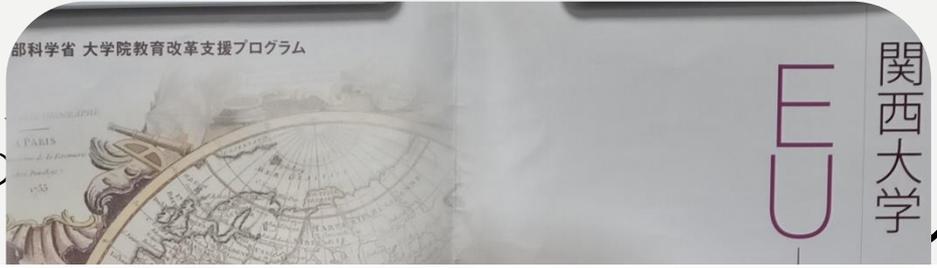


2階には24の部屋、19番「インドの間」に屏風が



研究成果は州立博物館ヨアネウムと関西大学のHPに

2007~2015 関西大学EU-日
 (文部科学省による大学院の
 KURUVE)



大
 200
 想史

会

No

EA

演



フ

思

と

slo

協

2015.7. International Symposium
 “Shifting Perspectives on Media and Materials in Early Modern
 Japan”

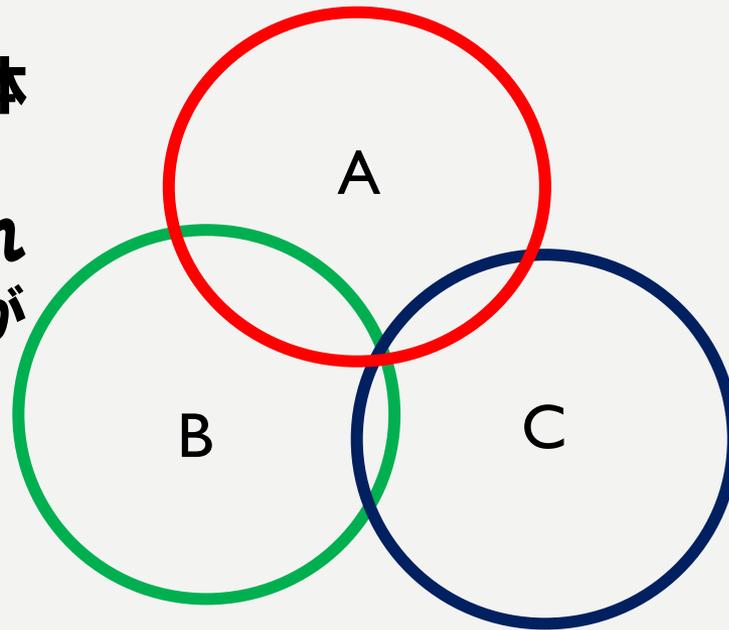
3 デジタル化時代以前 Before Digitalization

地方の旧家^Aに眠る史料・資料の秩序

Family Archives and Materials in Old Houses in Regional Japan

もともとは一体

公開・研究されることで分離が進む



A 政事
Political
Matters

政治史・社会史
資料館・博物館

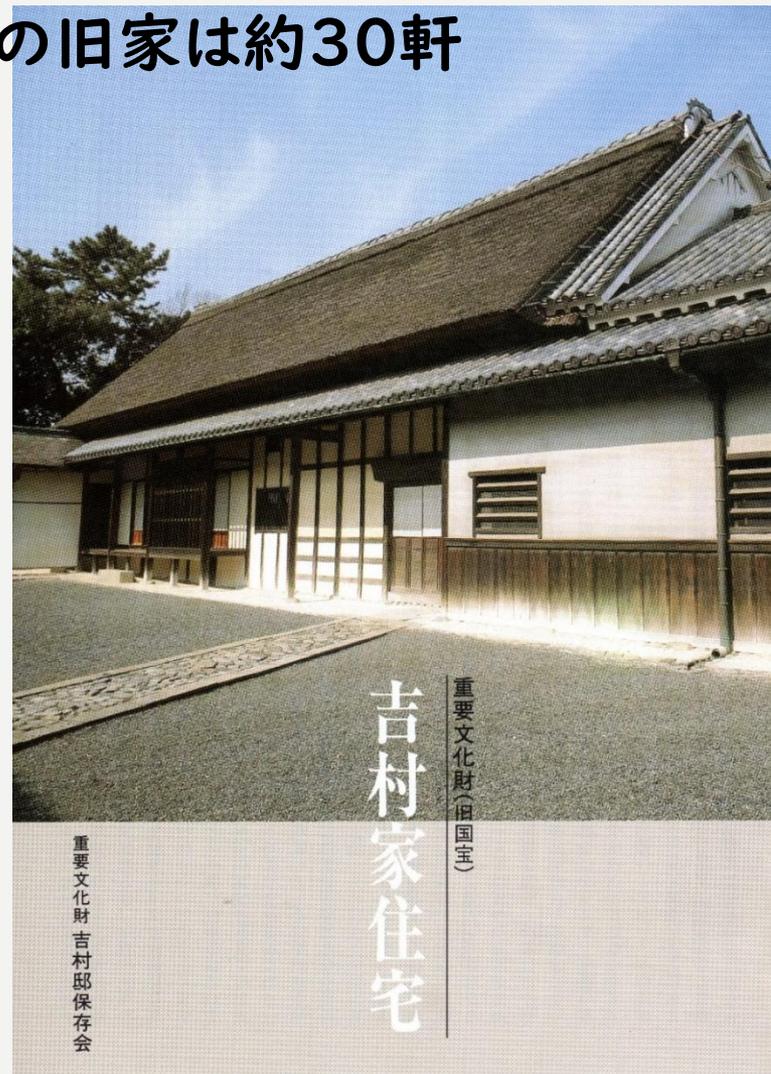
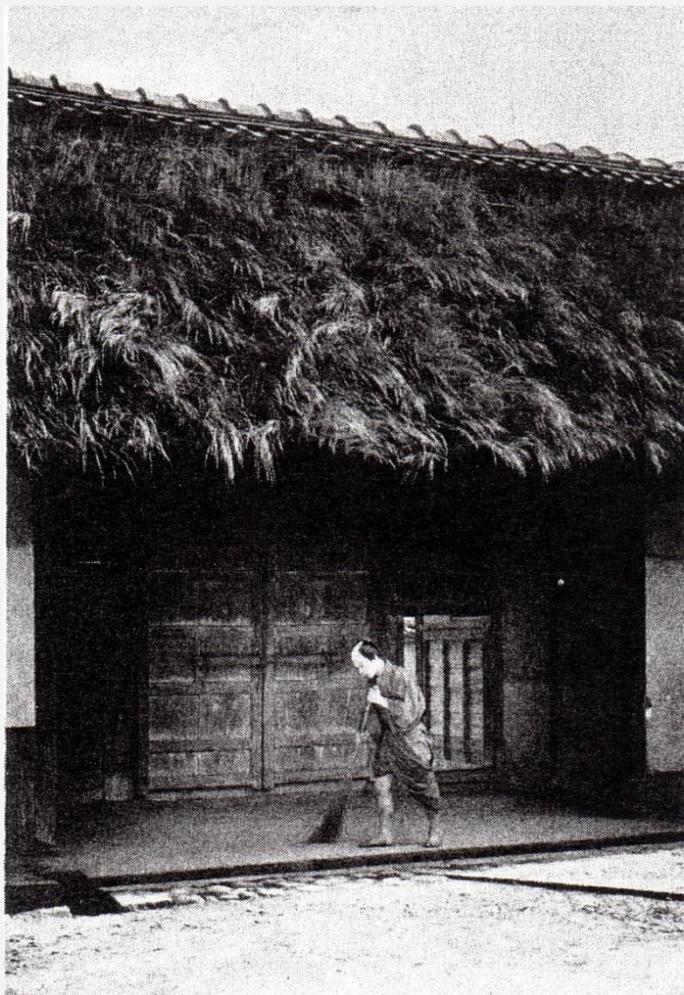
B 文事
Cultural Matters

文化史・美術史
美術館・古美術商

A 家事
Household Matters

経済史・ジェンダー史
文書館・最後まで家蔵

わたしが丸ごと調査した日本の旧家は約30軒



吉村**Yoshimura**家住宅 重要文化財 大阪府羽曳野市
戦前は国宝民家の第一号、認定書が残る**1969**年訪問

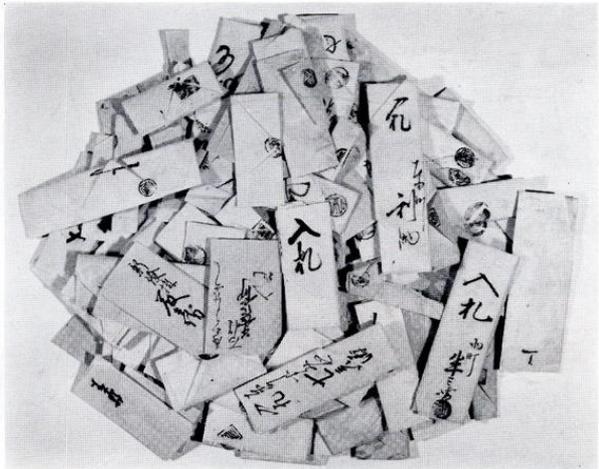


川本**Kawamoto**家住宅 重要文化財 鳥取県琴浦町
May 2012



May 2017 and Jan.2018

平尾**Hirao**家住宅 兵庫県猪名川町

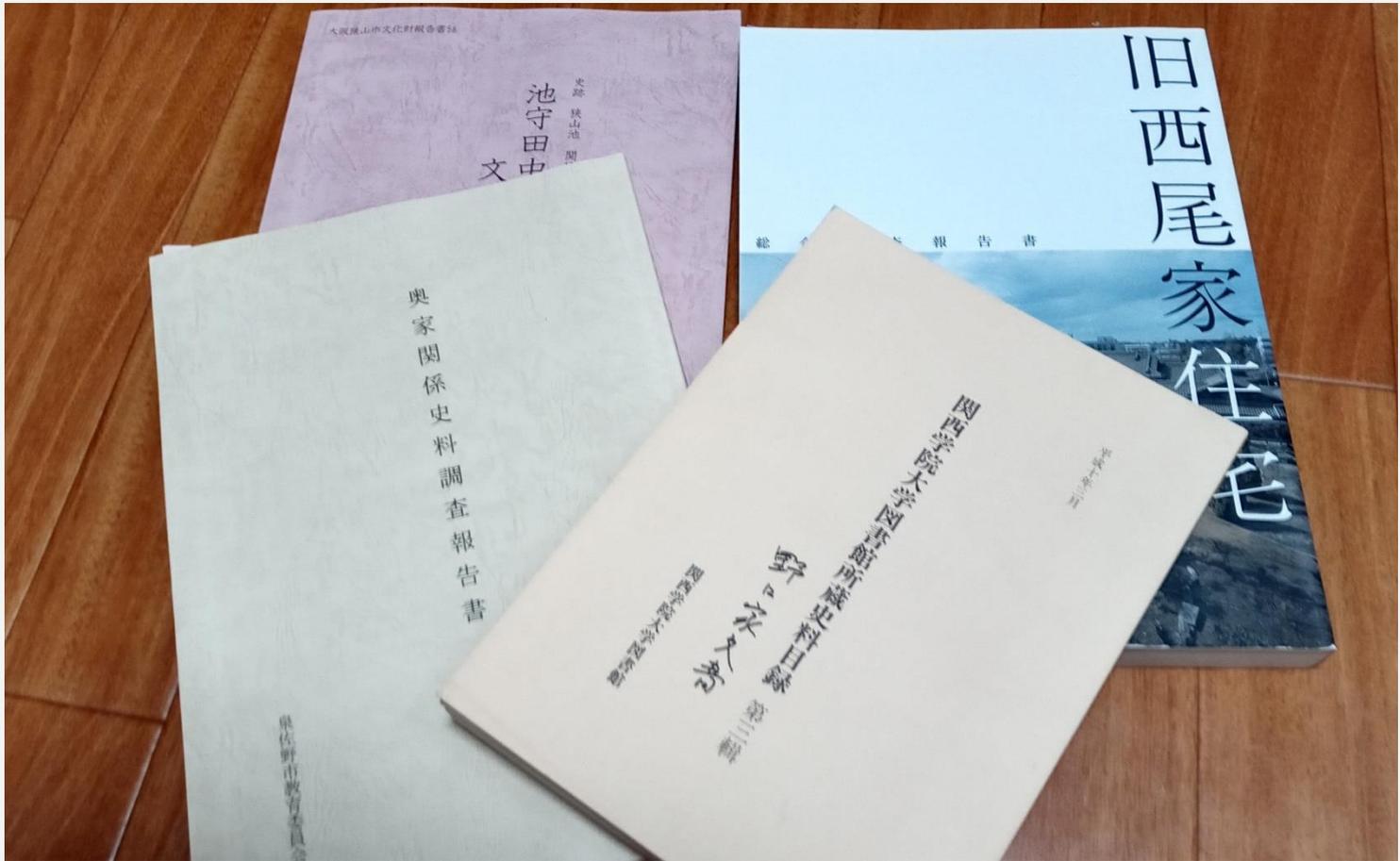


事績
Achievement
Letter

投票用紙
ballot paper

雑記帳
notebook

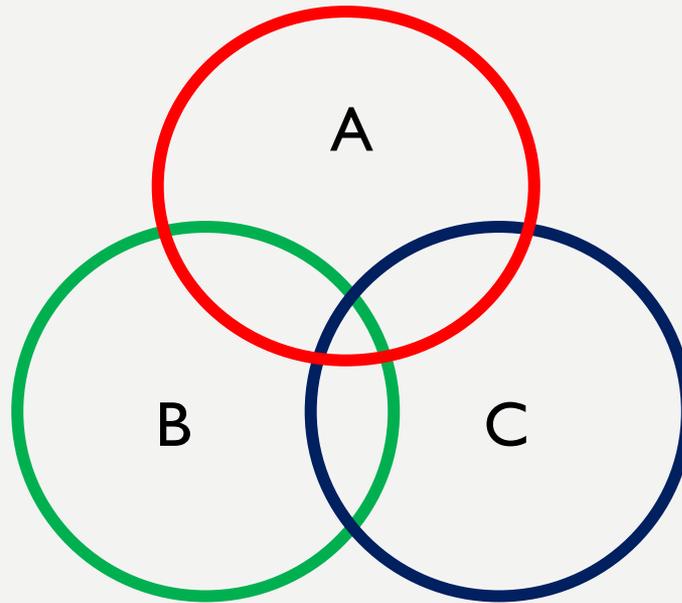
旧家に所蔵されるさまざまな古文書 (崩し字)



旧家調査の報告書・古文書目録
(市長村・大学の負担、文化庁補助もあり)
■現代の分類によって作成されている

政事・文事・家事の現われ

Appearance of Three Territory



A 政事
Political
Matters

庄屋・町年寄
触書・役務日記・
苗字帯刀

B 文事
Cultural Matters

文人・雅号・字名
蔵書目録・書画・俳人仲間

A 家事
Household Matters

当主・屋号・世襲・店政
大福帳・過去帳・墓碑

政事・文事・家事の成立

Formation of Three Territory

『河内屋可正kawachiyaKasyo日記』
1680年代の成立、河内大ヶ塚（大阪府河南町）
作者は敗者として帰農した老農

「世は太平也、身は百姓也」 徳川の平和

「手カク事男ノ第一ノ芸ナリ」 身分制

「農商ノ輩モ己ガ渡世ノ業ヲヨク勤メテ後、
諸芸ヲ好ミ」茶事・俳諧・謡・儒学など

➡ **家事の余力で文事（芸事）を楽しむ**
「余力学文」

YorikiGakumon

（参考文献）

山中浩之「『河内屋可正旧記の』現在」『日本史研究』670, 2018

横田 諒書史『日本近世書物文化史の研究』岩波書店 2018

それ以外について紹介します。

1 好古学者Antiquary

吉田喜平次 *Yoshida Kiheiji* と吉田家（神戸市）



Image: TNM Image Archives

参考2-2 近世名家肖像図巻 谷文晁筆
江戸時代 東京国立博物館蔵

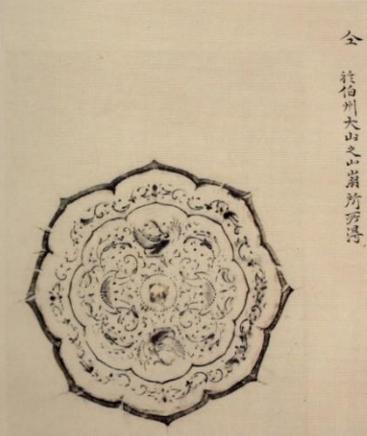
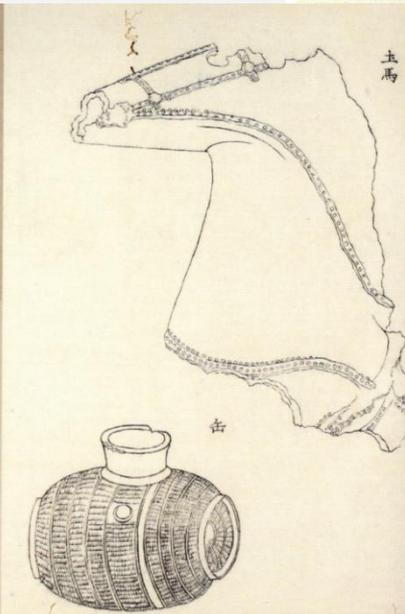


灘の酒造地帯の一つ住吉村
赤丸は本家と本宅、黄色は別邸聆涛閣
政事・家事と文事の空間分離

企画展示

いにしえが、好きっ！

— 近世好古図録の文化誌 —



近世好古図録の文化誌

玉器
河内国古市西琳寺蔵
安閑天皇陵陪所出
俗云千ヤマン



1-4 白瑠璃碗 古墳時代 東京国立博物館蔵 重要文化財

March 2023
国立歴史民俗博物館特別展

「聆涛閣集古帖」

Reito Kaku

Syukojo Collection

全体で46帖

吉田喜平次家三代の

コレクション

17代 敬・道可1734～1802

18代 肅・道園1768～1832

19代 敏・渚翁1802～1869

定信より送られた阿武隈川の埋もれ木の文台を吉田敬が所持。

おのれ壮年より学友、茶事を好むとして銀閣寺集芳軒にて茶事。

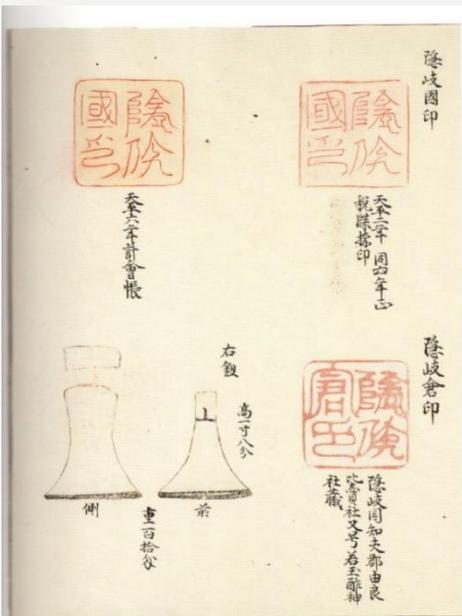
仁恵に篤くして寛政年間に褒美を受けた。(橘泰「筆のすさび」)



5-9 集古十種稿 寛政12年(1800)序刊 慶應義塾(センチュリー赤尾コレクション)蔵

『集古十種』 Syuko Jyussyu 1800年刊行
松平定信 (1759~1829) の好古図譜
松浦静山・真田幸貫・徳川齊昭ら文人
大名のネットワーク

2400件の資料の中から 実物・複製・復元品を展示

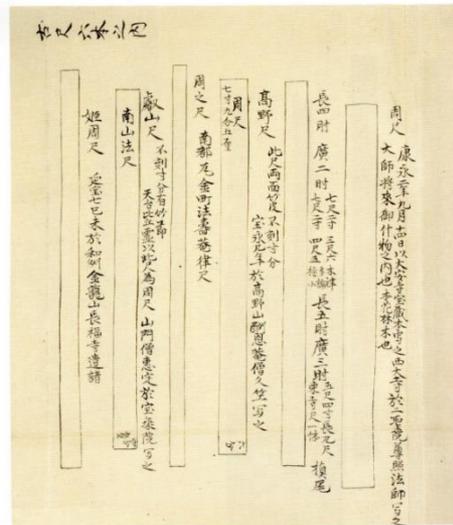


「聆涛閣集古帖」印章一

印章は全五帖からなる。いずれの帖も、印影を朱書にて模写して貼り付け、脇に墨書にてその典拠を記すの原則とする。ただし他の印譜から転写したのもも少なくないと思われる。

本帖には国印・倉印・郡印・郷印の印影計二六顆が収められる。正倉院文書から収録したものが多く、それ以外の文書や伝世印・出土印から採録したものもあり、また「故撰本」「古撰本」に拠ったことを明記する印影もある。「但馬国印」は「天平九年正月税牒、天平勝宝、年正月」より採録したものであり、「隠伎倉印」は隠岐国の玉若酢命神社（島根県隠岐の島町）に伝来した銅印で、印影のみならず鈕部分も描かれている。

「聆涛閣集古帖」印章一



「聆涛閣集古帖」尺量



1-38 銅印(印文「隠伎倉印」) 複製 国立歴史民俗博物館蔵 (原品は玉若酢命神社蔵、重要文化財)



1-52 横造尺 江戸時代 慶應義塾大学附属研究所所蔵文庫蔵

印章 Seal 尺度 Ruler

文事の精華

南朝吉田内大臣定房子孫

居士諱教字仁彦備北者稱喜平次後改助左衛門其先出於

南朝吉田内大臣定房子孫仍襲稱吉田為氏世居于攝津菟原郡墨

江其田居士為人篤實温惠好古慕賢其少時嘗學東漢壯年患

痾請瘞于洛吉益東洞有効遂信其說終身不易其家世業農且造酒釀

世豪於財然善督家人常盡力乎耕耘蓋嘗獲嘉禾其田大喜以為年

瑞上之於縉紳某公云居士又每遭歲凶私出米財施濟窮民事後聞

于大府特大褒賞賜以白銀若干居士後悉委其家事於其嗣肅而老

焉自改號曰道可享和二年壬戌冬十二月廿九日疾歿年六十九葬

于其邑北山祖塋之側居士嗜倭歌為日野資枝御門人好書為大炊

御門家孝公門人後愛其運筆秘訣教之於人諸邦為之弟子者頗眾

寬政七年嘗設茶宴于洛東銀閣寺八年如之京橋及諸邦賢豪赴

會之者甚多云居士娶辰馬氏生一女養高木氏子名肅為其嗣丙以

配焉以予素識居士因請為墓銘銘曰

不唯惠矜藻藝有凝名流為朋敬聞乃騰雖沒在泉其人足傳

遺義茲零負珉雜刊

享和三年三月

皆川愿撰

中山前亞相愛親卿書

孝子肅建



地元に残る資料が語るもの

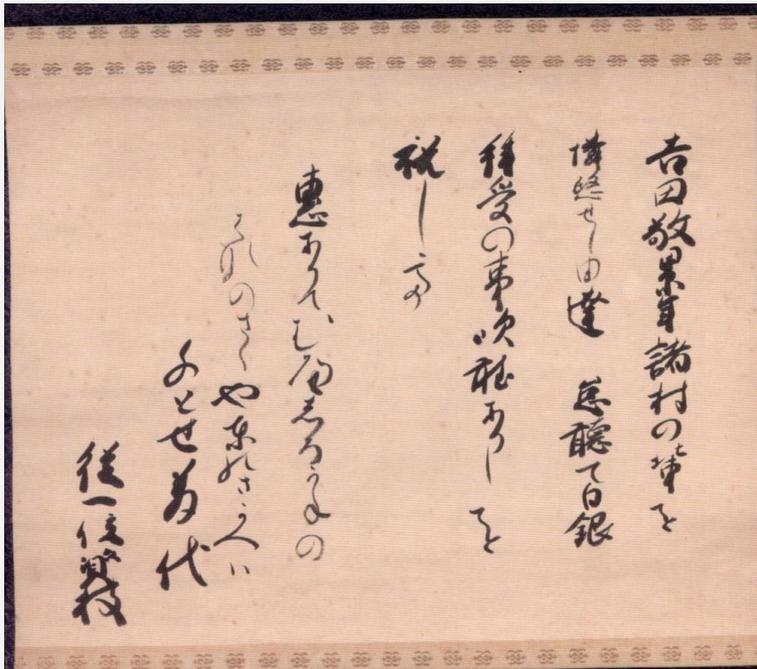
住吉村の墓碑（京都儒者皆川淇園撰）と住吉歴史資料館蔵資料

公卿日野資枝和歌懐紙

吉田道古の栄誉を読む

天明飢饉に際し、近郷の村人に施行したことを幕府に称賛され、
代官岸本武太夫によって

吉田喜平次の名を認定された

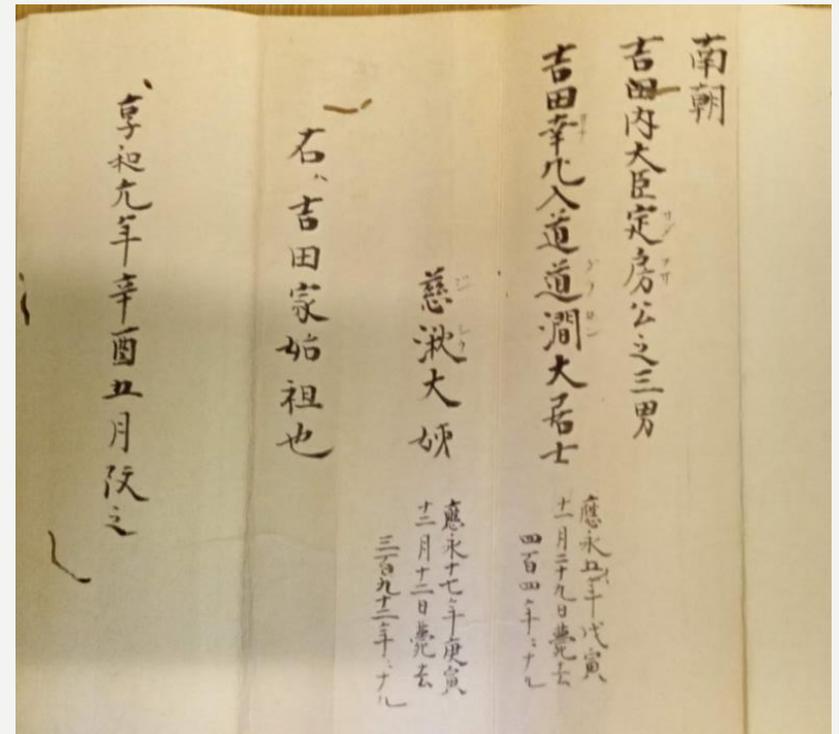


享和元年(1801)5月記す

南朝吉田内大臣定房の三男
が始祖

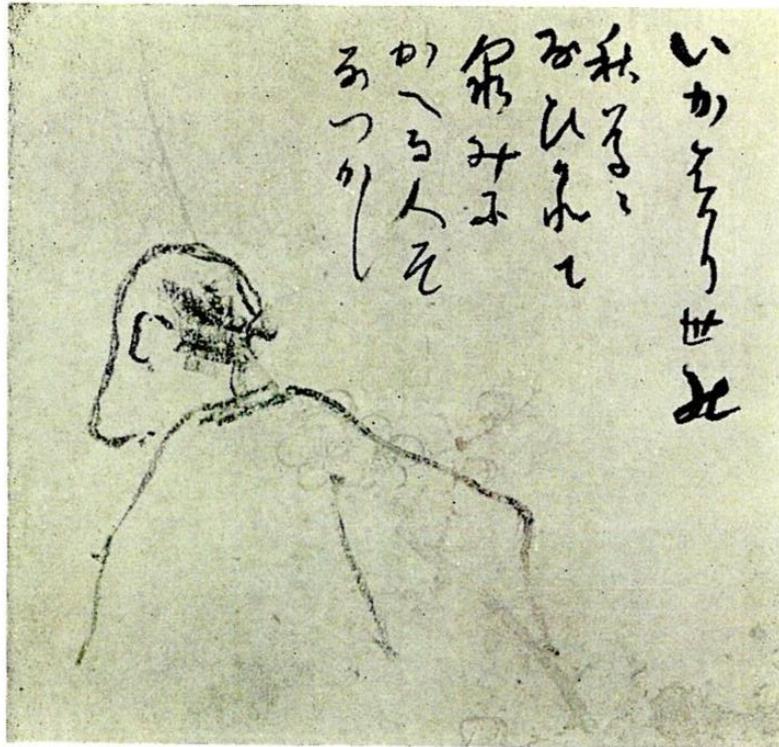
文事と政事は表裏の関係
文事は家祖の探求へ

ただし家業資料は乏しい



2 美術愛好家**Art Lover**

里井浮丘 **Satoi Fukyu** と新屋（泉佐野市）



肖像 日根対山筆



図16 佐野から京都への経路

『里井浮丘遺稿集』 泉佐野市教育委員会1966年
市が作った文事の記録

河内屋可正「余力学文」YorikiGakumon1680年代



里井浮丘「行余楽記」GyoyoRakki1830年代

新屋Atarashiya治右衛門（1799～1866）

文政5年当主を継ぐ

**「家のなりはひ（家事）をするがうへに、
里正のこと（政事）さへうけたまわりて、
よの中のわざ、家のことはた多ければ、
学ぶべき志（文事）はありて、其のいと
ま（暇）なんなかりける」24歳**

政事と家事に対する文事への思い

長閑亭書

天保十三年三月廿三日
長閑亭主人
長閑亭書
天保十三年三月廿三日



山本君山 名簡筑后州久留米人

吉那梅泉 名邦字惟慶 貝塚人

右二月十日同觀

岡田半江 名清寓墨江 通称彦左工門

全九茹 一号寸龍 通称彦兵衛 先人男

自二月廿日至廿三日

小田海仙 姓玉名羸字巨海一號 長州人寓京師六角柳馬場東

藤木彝齋 伊海仙門人通称 三良京都人

自八月廿九日至九月十二日

岡松耕仙 海仙門人京都人 寓和州野原

四月九日来

貫名海屋 名苞字君茂一號 通称泰次郎阿波人寓京師

加藤良吉 海屋門人 越中富山藩中人

宮本金吾 同門 伴賀上野人

忍頂寺梅谷 名温淡州人 寓大坂

九月廿二日廿三日同觀

翠托雪操 姓金名大美江戶人 寓撰州吹田邑

十月十九日廿日

挟芳園所蔵書画展観例(天保13/1842)
Note of visitors to the Kyohouen Collection
書画愛好者のネットワークが分かる

最近の解明 京都での出張展示

天保15年（1843）9月41歳、明画家
周之夔Syusiki「溪澗松濤図」を
中林竹洞宅で浦上春琴らが熟覧。
（泉屋博古館現蔵品箱書）

対する浮丘の証言

『日省簿』9月21日条に
京都木屋町竹洞宅で古書画を
展観、貫名海屋や春琴が参観した。

中国書画コレクターとしての浮丘

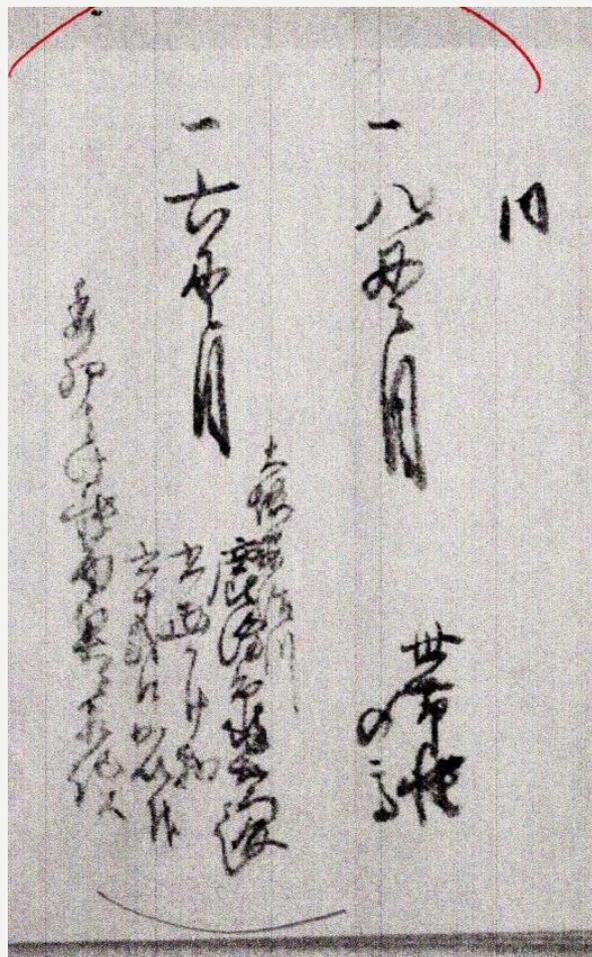
（参考文献）富田博之「周之夔筆『溪澗松濤図』を
めぐる人々」『泉屋博古館紀要』36、2020）

入手経路は不明

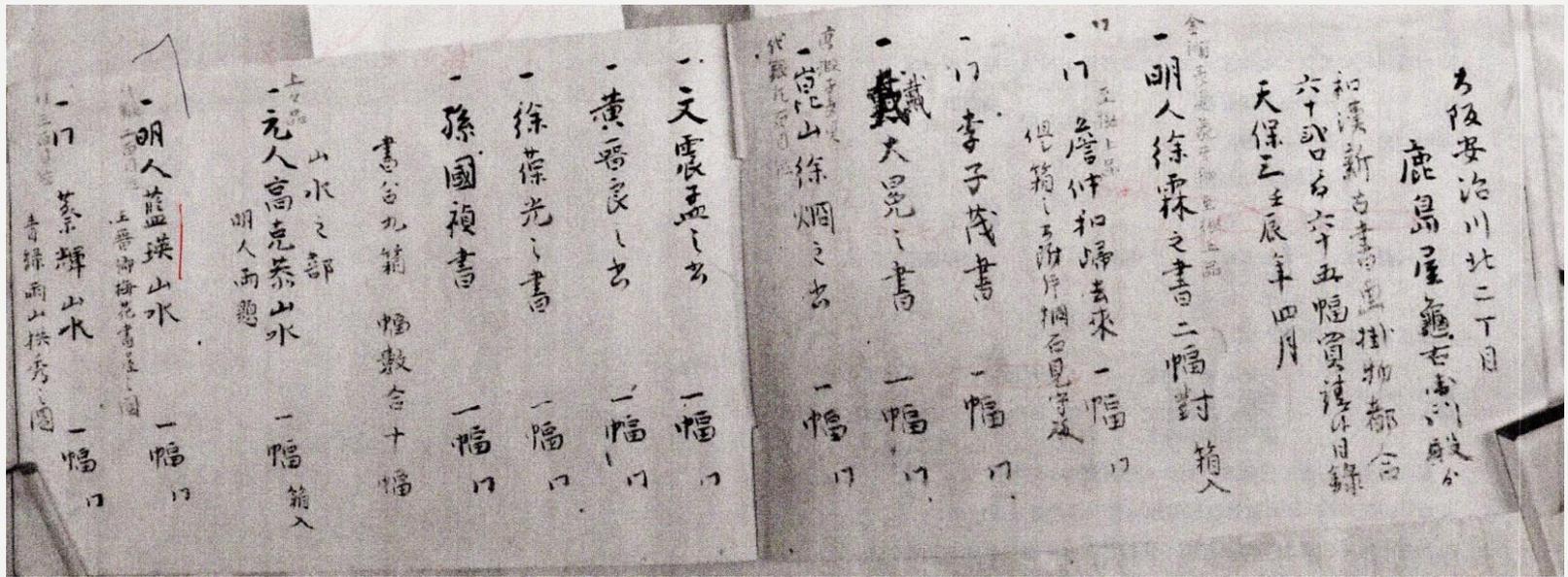


1646年153×48cm

Tanaoroshicho店卸帳Balance Note



天保3年4月、大坂安治川鹿島屋亀右衛門
から譲渡「和漢新古書画掛物」
62口、65幅 価格銀6貫目(約1千万円)
世帯方(一年分生活費)8貫目の80%



明人書 徐霧の書二幅対 至極上品 ほかに9箱10幅

書画山水

藍瑛一幅200目位、周之夔山水一幅、曹有光山水一幅上々品420目位ほかに29幅
書画花鳥 約70万円

周之夔一幅上々品300目位、僧雪窓蘭竹之画一幅ほかに13幅

雑画

宋牧谿遠公之図妙品ほかに5幅

今の感覚からみると安い！！

和画

霞樵(池大雅)蜀機道之図一幅ほかに8幅

家事資料が明かす文事

今に残る作品

浙江省銭塘の人、明末清初の杭州を代表する画家。元末の王蒙の画法に倣い描いた作、藍瑛の山水画の代表。

谷文晁の摸本には、貫名海屋による安政5年の跋文が付く。

天明年間に請来され、倣古山山水12幅の一。市川米庵も一本を入手している。

静嘉堂文庫美術館蔵
ただし伝来は不明



徐霧 菊花野兔図 絹本着色 一幅 明時代 15~16世紀 137.5×58.7

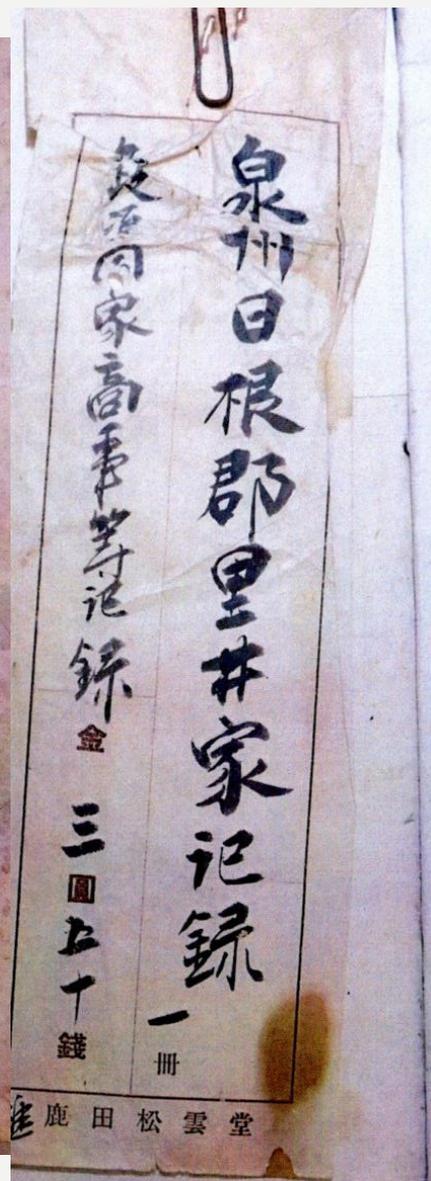
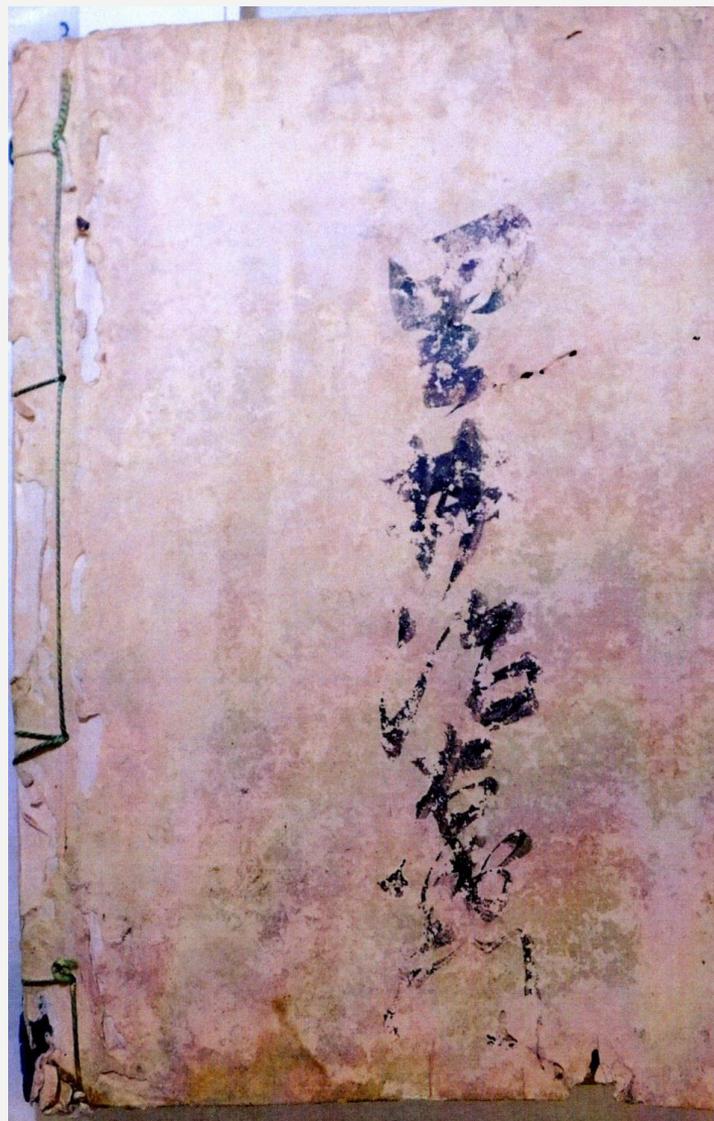
徐霧 (15~16世紀)
菊花野兔図 137×58



藍瑛 1638 重要文化財
秋景山水図 187×52

里井家商 事等記録 Business Record

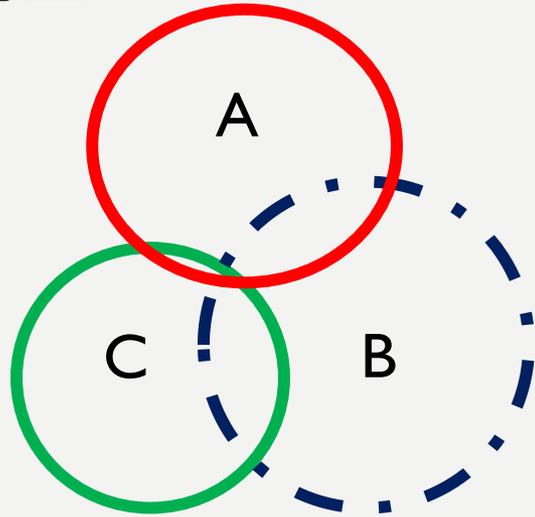
大阪を代表
する古書肆
鹿田松雲堂
が売り出して
いた



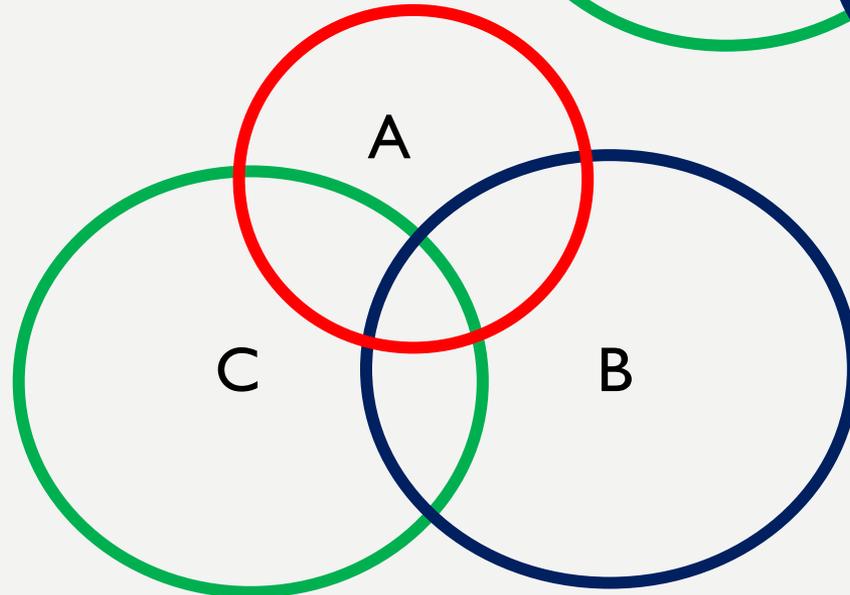
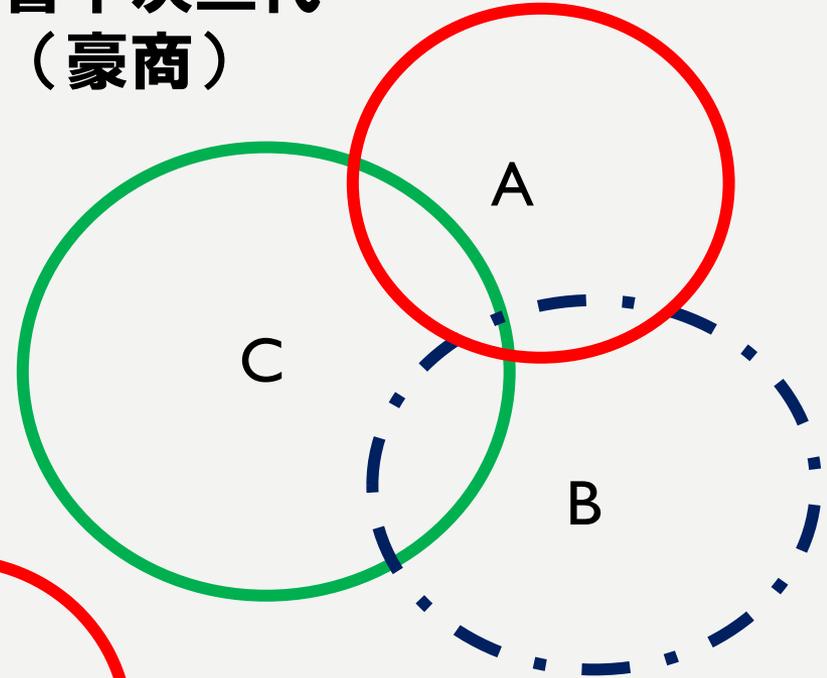
買い戻された資料を含め家事資料が豊富に残っている
(歴史館いずみさの蔵)

可正・喜平治・浮丘の比較

可正



喜平次三代
(豪商)



浮丘 (豪農)

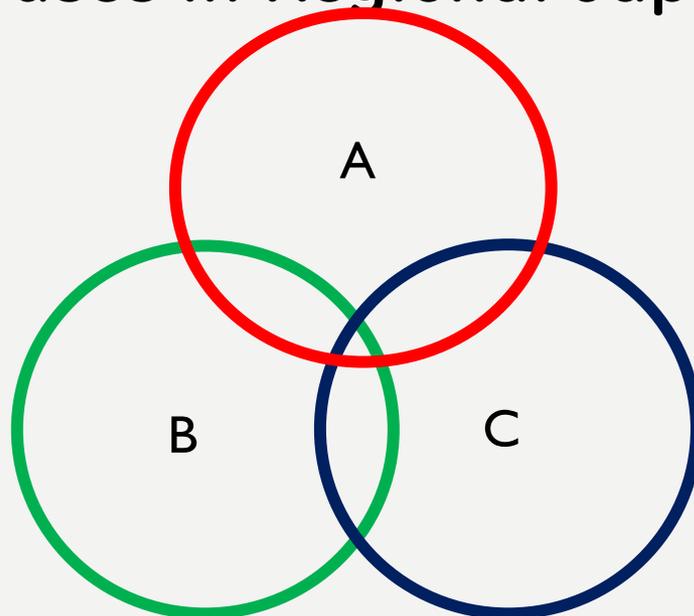
日本の旧家のアナログ世界

Family Archives and Materials in Old Houses in Regional Japan

もともとは一体

公開され、研究が
進むことで分離・
分割される

その結果が、目録
として、史料・資
料としてデジタル
データの基とな
る



A 政事
Political
Matters



政治史
社会史

B 文事
Cultural Matters



文化史
美術史

C 家事
Household
Matters



経済史
ジェンダー史



ご清聴ありがとうございました